

平成 25 年（2013 年）2 月 8 日
総務部財政課
（課長）平木 万也
（担当）小池 広益・滝沢 倫弘
電話：026-235-7039（直通）
026-232-0111（内線 2053）
FAX：026-235-7475
E-mail：zaisei@pref.nagano.lg.jp

平成 25 年（2013 年）2 月 8 日
総務部市町村課
（課長）小林 利弘
（担当）金井 伸樹・小澤 利彦
電話：026-235-7139（直通）
026-232-0111（内線 2127）
FAX：026-232-2557
E-mail：shichoson@pref.nagano.lg.jp

地方事務所長からの 施策提案への対応状況 （平成 25 年度当初予算案等）

長野県

平成25年（2013年）2月

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 室 (所)
	施 策 名	概 要	※(新)は新規事業、< >内はH25当初予算案計上額(単位:千円)	
佐 久	未来につながる 信州佐久の農 業・農村づくり	<p>将来を見据えた地域づくりを進めていく上で、佐久地域の「元気な農業・農村」が果たす役割は大きいと考えられることから、「誇れる信州佐久農業」を地域全体で共有し、今後の一層の発展を目指すため、次の事業に取り組む。</p> <p>○学校給食「太陽と大地の恵みに感謝する日」の実施</p> <p>○「来て・ためして 信州佐久の農村生活体験事業」の実施</p> <p>○「信州佐久 太陽と大地のマイスター」の設置</p>	<p>学校給食による地産地消の推進については、地域における農業の特性や魅力の共有も含め、地域や学校の主体的な取組が促進されるよう、地方事務所による助言・情報提供を行います。</p> <p>農村生活体験については、市町村が行う同様の事業に対し、下記の事業の中で県グリーン・ツーリズム協議会と連携してPR等を行います。</p> <p>・都市農村交流対策事業 <2,211></p> <p>また、移住セミナーの開催については、下記の事業の中で対応します。</p> <p>・移住・交流推進事業 <12,213></p> <p>マイスターの設置については、下記の事業における、「おいしい信州ふード(風土)名人(仮称)」の発掘により対応します。</p> <p>・「おいしい信州ふード(風土)」プロジェクト推進事業 <73,065></p>	<p>農政部 農業政策課</p> <p>農政部 農産物マーケティング室</p> <p>観光部 移住・交流課</p> <p>農政部 農産物マーケティング室</p>
上 小	自然エネルギー の導入支援	<p>地域の優位性及び固定価格買取制度の導入を契機として、中小事業者等による自然エネルギーの導入を後押しする。</p> <p>○助成制度の創設</p>	<p>中小事業者向けの助成制度として活用可能な下記の事業により対応するほか、国の補助・減税制度の活用支援や、分かりやすいPRに努めます。</p> <p>・公共施設等再生可能エネルギー導入推進事業 <293,877></p>	<p>環境部 温暖化対策課</p>
上 小	木造公共施設の 整備支援	<p>地域材の利用促進と地域への波及促進効果の大きい、木造公共施設の整備を後押しする。</p> <p>○公共建築物への地域産材活用支援</p> <p>○市町村提案に対する支援</p>	<p>公共建築物への地域産材活用支援については、下記の事業により対応します。</p> <p>・木造公共施設整備事業 <818,745></p> <p>また、長野県森林づくり県民税を活用し、地域が主体となって地域材を積極的に活用する事業として、次の事業により対応します。</p> <p>※(新)・信州の木活用モデル地域支援事業 <12,500></p>	<p>林務部 県産材利用推進室</p>

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況	担 当 部 課 室 (所)
	施 策 名	概 要	※(新)は新規事業、< >内はH25当初予算案計上額(単位:千円)	
上 小	遊休農地の再生 利用支援	農地の集積等により、遊休農地の出し手と農地として再生する利用者を後押しする。 ○遊休農地再生支援体制整備 ○再生利用機械施設整備	遊休農地再生支援体制整備については、県農業再生協議会担い手農地部会の行う「耕作放棄地再生利用緊急対策交付金事業」の活用支援により対応します。 なお、再生利用機械施設整備に当たっては、受益地の確保が必要と考えます。	農政部 農村振興課
上 小	大河ドラマによる 観光誘客	大河ドラマ効果による地域活性化をめざし、新たな観光誘客への取組や住民の地域づくりを後押しする。 ○全県的取組 ○上小地域としての取組	NHK大河ドラマの誘致活動及び地域の歴史、文化などの観光資源を活かした観光誘客の促進については、下記の事業の中で対応します。 また、放送が決定した場合には、その効果が県内に広く波及するよう体制を組んで支援します。 ・長野県フィルムコミッションネットワーク推進事業 <854> ・観光誘客促進事業(旅行商品開発等) <3,990>	観光部 移住・交流課 観光振興課
諏 訪	交通新時代に向けた 連携・交流 基盤拡大事業	リニア中央新幹線等の新たな交通基盤の整備を見据え、県境を挟んで隣接する山梨県峡北地域と諏訪地域との連携・交流を推進する。 ○連絡会議の設置 ○共同事業の企画・実施	地域での取組を、地方事務所が中心となって進めます。	企画部 リニア推進振興室
諏 訪	ニホンジカの大量 捕獲・担い手 育成総合対策	ニホンジカによる農林業や自然環境への被害に対応するため、シカの行動をマクロな視点で捉え、要所を見定めた効率的な捕獲と担い手育成を総合的に実施する。 ○捕獲対策 ○担い手の育成	捕獲や残渣処理については、下記の事業の中で対応します。 (新)・シカの効率的捕獲方法推進事業 <88,000> ・残渣処理支援事業 <1,000> 担い手の育成については、(新)捕獲リーダー養成事業<450>及び(新)シカの効率的捕獲方法推進事業<88,000>として要求していましたが、このうち捕獲リーダー養成事業で要求していた人材養成については、下記の事業の活用により実施することとしました。 ・野生鳥獣保護管理人材養成事業 <1,027> なお、調査については、次期特定鳥獣保護管理計画(H28～H32)の策定前に行う予定であり、当面は既存データを活用してください。 また、調査推進のリーダー育成については、専門的な知識・技術が必要で時間を要することから対応困難ですが、技術的助言については信州大学等との連携により対応します。	林務部 野生鳥獣対策室

地方 事務所	提案内容		対応状況 ※(新)は新規事業、< >内はH25当初予算案計上額(単位:千円)	担当部課室(所)
	施策名	概要		
諏訪	諏訪湖の環境改善対策	<p>諏訪湖の湖底の貧酸素化やヒシの大量繁茂等の課題に対応するため、「諏訪湖環境改善行動会議(仮称)」を設立し、行政と民間が協働して諏訪湖の環境改善に取り組む。</p> <p>また、全国の専門家をアドバイザーに依頼し、その助言を行動会議等で進める対策に活かす。</p>	<p>平成24年11月12日に、「諏訪湖環境改善行動会議」を設置しました。また、アドバイザーによる助言等については、下記の事業により対応します。</p> <p>(新)・諏訪湖環境改善対策事業 <394></p>	<p>環境部 水大気環境課 農政部 園芸畜産課 建設部 河川課</p>
上伊那	再生可能エネルギーの活用による農業生産基盤の安定化に向けた研究について	<p>農業生産基盤としての土地改良施設(農業用水路、揚水ポンプ等)について、経営耕地面積の減少や施設の老朽化により維持管理に係る農家負担が増加しているため、農業用水を活用した小水力発電等の収益により土地改良施設の維持管理を可能とする仕組みづくり等について研究し、その成果をもって農業生産基盤の安定化及び再生可能エネルギーの更なる普及を図る。</p> <p>○「上伊那地域農業生産基盤再生可能エネルギー活用研究会(仮称)」による研究</p>	<p>再生可能エネルギーの調査研究については、下記の事業の中で対応します。</p> <p>・土地改良施設エネルギー活用推進事業 <203, 250></p> <p>また、研究会の設置については、地域で取組まれるようお願いいたします。</p>	<p>農政部 農地整備課</p>
下伊那	飯伊産農林産物の競争力強化と販路拡大	<p>飯伊地域で生産された木材の品質を明確にする取組や東海地域で開催される商談会への出展などを通じて農林産物の競争力強化や販路拡大の取組を進める。</p> <p>○木材の品質を明確にする取組と低コスト住宅開発の支援</p> <p>○県外商談会への出展と管内商談会の開催及び産地直売会の実施</p>	<p>木材の品質を明確にする銘柄化への取組や販路拡大等については、下記の事業の活用により対応します。</p> <p>・林業再生推進活動事業 <28, 290></p> <p>なお、低コスト住宅の開発は、民間レベルでの取組が行われていることから、県としては技術的助言により対応していきます。</p> <p>また、農産物の販路拡大等については、地産地消「信州を食べよう」キャンペーン推進委員会や、中小企業振興センターの販路開拓推進員等との連携により行います。</p>	<p>林務部 森林政策課 建設部 住宅課 農政部 農産物マーケティング室 商工労働部 経営支援課</p>

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況 ※(新)は新規事業、< >内はH25当初予算案計上額(単位:千円)	担 当 部 課 室 (所)
	施 策 名	概 要		
下伊那	飯伊地域における小水力発電事業の導入推進	市町村と民間事業者などの協働により、飯伊地域における小水力(マイクロ水力を除く)発電事業の足掛かりとなる基礎資料を作成する。 ○市町村研究会・信州ネット地域協議会等による検討会の設置 ○文献調査や現地調査による賦存量及び導入適地の調査	検討会の設置については、地域で取り組まれるようお願いいたします。 また、賦存量及び導入適地調査については、下記の事業の活用により対応します。 ・地域主導型自然エネルギー創出支援事業 <35,000>	環境部 温暖化対策課
木 曾	木曾の ^{あすひ} 翌檜塾(仮称)活動支援事業	地域づくりに対する思いを持つ若年層が集まる場を提供し、将来の地域づくりに向けた議論と行動を促す ^{あすひ} ことで、リーダーの育成を目指す。 ○翌檜塾(仮称)の立上げ ○活動計画の策定 ○課題解決に向けた具体的行動	地域づくりリーダーの育成については、「地域づくりネットワーク長野県協議会」で実施していることから、これまでの支部活動の検証と、対応の検討が必要と考えます。 なお、「地域づくりネットワーク長野県協議会」の運営については、下記の事業により対応します。 ・地域づくりネットワーク事業 <260>	総務部 市町村課
木 曾	『信州地粉こだわりそば店』認証制度の創設	地元産そば粉の利用を促進するとともに、信州の魅力発信力アップのため、そば店の認証制度を創設する。 ○県統一基準の設定 ○産地独自の上乗せ基準の設定	そばの品質、食味は様々な要素が複合され評価に幅があることから、統一基準や認証ではなく『おいしい信州ふど(風土)』が食べられるお店の質の向上を図ることで魅力アップを推進するよう、下記の事業により対応します。 ・「おいしい信州ふど(風土)」プロジェクト推進事業 <73,065>	農政部 農産物マーケティング室
松 本	松くい虫被害対策のための未利用アカマツ資源の利活用促進事業	松くい虫被害対策として、計画中の集中型加工施設及びバイオマス発電施設へ被害材を含むアカマツ材を安全かつ積極的に供給するための体制を整備し、未利用材の有効活用と被害拡大防止を図る。 ○松本地域未利用アカマツ資源供給利用検討会議(仮称)の設置 ○松くい虫被害林等の伐採・利用・更新のための調査・検討・計画策定	松本地域未利用アカマツ資源供給利用検討会議(仮称)の設置については、下記の事業の活用により対応します。 ・林業再生推進活動事業 <28,290> また、松くい虫被害林の伐採・利用等については、下記の事業の中で対応します。 (新)・未利用木材生産システム検証事業 <14,787> なお、更新技術については、現在、林業総合センターで調査・研究しています。	林務部 信州の木振興課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況 ※(新)は新規事業、< >内はH25当初予算案計上額(単位:千円)	担 当 部 課 室 (所)
	施 策 名	概 要		
松 本	山岳観光推進のための登山者安全対策基盤整備事業	地区山岳遭難防止対策協会の救助員の活動を支える無線機を計画的に更新し、山岳観光の基盤となる登山者の安全確保を図る。 ○無線機の更新	無線機の更新については、計画的な更新に向け、下記の事業の一部として対応します。 ・山岳遭難防止対策推進事業 <26,961>	教育委員会事務局 スポーツ課
北安曇	木質バイオマス発電による地域の創生	森林資源の有効活用を図り、林業の創生、新たな産業、雇用の創出を目指す。 ○広葉樹等森林資源の把握調査と適正な資源管理、流通体制の構築の検討 ○木質バイオマス発電の事業化の検討	森林資源の把握調査等については、下記の事業の活用により対応します。 ・林業再生推進活動事業 <28,290> また、大北地域における木質バイオマス発電の事業化については、今後の課題と考えています。	林務部 県産材利用推進室
北安曇	子どもからはじめる生活習慣病予防	生活習慣が確立し始める子どもの頃からの予防対策が重要なことから、地域ぐるみで小中学生の生活習慣病予防対策に取り組む。 ○地域で統一した基準による健診を実施するためのガイドラインの作成 ○研修の実施(基礎研修・フォローアップ研修)	ガイドラインの作成や保健指導のあり方等については、引き続き保健福祉事務所と市町村関連機関等、地域において検討をお願いします。	健康福祉部 健康長寿課
長 野	長野地域滞在型広域観光魅力発信事業	新幹線金沢延伸を控え、長野地域を中心とした広域観光ルートの魅力を県内外に発信し、宿泊滞在を伴う地域への誘客を促進するとともに、観光消費額の増加を図る。 ○広域観光ルートを活用したPRの実施 ・首都圏、県外等での観光PR ・メディアキャラバンの実施 ○モニターツアーの実施 ○二次交通事業者による商品化の推進 ○観光旅行者動向・意向調査の実施	広域観光ルートを活用したPRの実施等については、広域観光ルートパンフレットの作成やメディアトリップの実施に向け下記の事業により対応するほか、関係団体との連携により進めます。 ・北陸新幹線延伸を活かした観光振興事業 <7,448> また、地域内の観光旅行者動向・意向調査については、地域での対応をお願いします。	観光部 観光企画課 観光振興課

地 方 事 務 所	提 案 内 容		対 応 状 況 ※(新)は新規事業、< >内はH25当初予算案計上額(単位:千円)	担 当 部 課 室 (所)
	施 策 名	概 要		
長 野	「東北信うまいものまるごと大商談会」の開催	市場側からのアプローチとなる逆形式の商談会を開催し、商談効率の向上と生産者のマーケットイン志向による新商品開発を促進し、県内の地産地消による地域活性化を促進する。 ○商談会の開催(長野市、上田市) ○売り手(生産者)のプレゼンテーション力向上研修会の開催	農産物の販路拡大等については、地産地消「信州を食べよう」キャンペーン推進委員会や、中小企業振興センターの販路開拓推進員等との連携により行います。	農政部 農産物マーケティング室 商工労働部 経営支援課
長 野	「雪室信州りんご」ブランド化推進事業	雪を冷媒とした保冷库(雪室)で、りんご、そば等の特産農産物を貯蔵・出荷することにより、新たな付加価値を加え、「雪室」による統一ブランドを構築し、新たな“食”の観光資源とする。 ○平成24～25年度の取組 ・市町村、関係機関、JAなどによる全体ブランドの構築 ・簡易の貯蔵施設(雪室)による貯蔵試験、試験販売の実施 ○平成26年度の取組 本格的な雪冷熱利用貯蔵施設を設置 (27年春新幹線金沢延伸に合わせて販売)	地域におけるプランの検討・構築や要望を踏まえ、平成26年度以降の施設整備事業の実施を検討します。	農政部 園芸畜産課
長 野	上水道を活用した小水力発電の導入	自然エネルギーの利用促進を図るため、上水道施設を活用した小水力発電の導入を推進する。 ○県企業局、市町村水道事業者、県環境部による合同勉強会、先進地視察を行い、具体的な候補地を選定 ○導入に向けて市町村が行う可能性調査に対する財政支援 ※県が管理するダムについて、河川維持流量等を活用した小水力発電導入の可能性の検討も提案。	平成24年に、水道事業者、県担当部局等を対象とした研修会及び水道事業者に対する意向調査を実施しました。 また、水道事業者に対する導入に向けた事前調査等の支援については、下記の事業の活用により対応します。 ・地域主導型自然エネルギー創出支援事業 <35,000> なお、平成24年9月に「中小規模水力発電技術支援チーム」を設置し、市町村等に対する技術的な観点からの助言・情報提供を行っています。 また、一部の県管理ダムにおいて、小水力発電導入の検討を行っています。	環境部 水大気環境課 温暖化対策課 企業局 建設部 河川課

地方事務所	提案内容		対応状況 ※(新)は新規事業、< >内は H25 当初予算案計上額（単位：千円）	担当部課室（所）
	施策名	概要		
長野	有害鳥獣捕獲の担い手確保のための射撃場整備	狩猟者の射撃技術を向上させ、狩猟の安全確保に資するとともに、有害鳥獣の捕獲を担う人材を確保するため、育成の拠点となる射撃場の整備に対し助成を行う。 ○猟友会等が設置・運営する射撃場における射撃訓練に直接必要な設備整備に要する経費の一部を補助	射撃場の整備については、下記の事業により対応します。 (新)・銃猟者育成射撃場整備支援事業 <2,000>	林務部 野生鳥獣対策室
長野	地域分権型予算（地域戦略推進事業費）の創設	「新たな総合5か年計画」の推進と実現に向けた各地域の重点プロジェクトなど、地域の独自性・緊急性の高い事業を実施するため、各地方事務所が独自の判断で執行できる地域分権型予算（地域戦略推進事業費）を創設する。 1所当たり 10,000千円×10所	地域の課題解決に向けた事業については、「地方事務所長からの施策提案」制度を活用した提案を踏まえ、各部局において検討していくことが必要と考えます。 なお、地方事務所長が地域における総合調整機能を発揮し、地域の活性化等に向けた取組を迅速かつ柔軟に実施するため、下記の事業を予算計上しています。 ・地方事務所長総合調整推進費 <5,000>	総務部 市町村課
北信	新幹線延伸に伴う北信州活性化連携事業	平成26年度末の北陸新幹線延伸に伴う飯山駅開業による効果を最大限活かすため、信越9市町村広域観光連携会議と連携し、開業に向けた機運の醸成や情報発信等により北信地域の活性化を図る。 ①地域全体の機運を高めるための取組 （2年前イベントとタイアップした地域住民向けシンポジウムの開催等）	平成25年3月に、今年度の地方事務所長総合調整推進費を活用して、2年前イベントとタイアップしたシンポジウムの開催を予定しています。	北信地方事務所 （企画部 新幹線・在来線企画室）
北信	新幹線延伸に伴う北信州活性化連携事業	②新幹線飯山駅と自動車道を複合させた取組 （広域観光エリア内7つの道の駅支配人・店長による情報交換会の開催、飯山駅を基点とする広域ドライブマップの作成）	平成24年11月に、地域において道の駅支配人、店長による情報交換会を開催し、平成25年度も継続して開催する予定としています。 北陸新幹線延伸に伴う飯山駅開業に向けた取組については、広域観光ルートパンフレットの作成等、新駅の認知度向上や広域観光を推進するため、下記の事業により対応します。 ・北陸新幹線延伸を活かした観光振興事業 <7,448> なお飯山駅を基点とする広域ドライブマップの作成については、地域で取り組まれるようお願いいたします。	北信地方事務所 観光部 観光企画課 観光振興課

地 方 事務所	提案内容		対応状況 ※ 新 は新規事業、< >内は H25 当初予算案計上額（単位：千円）	担当部課室（所）
	施策名	概要		
北 信	新幹線延伸に伴う北信州活性化連携事業	③地元ならではの食の情報発信と地域限定 sweets の開発	<p>地域等の目玉商品の開発については、下記の事業の中で、「おいしい信州ふード（風土）大使」からのアドバイスを受けて支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おいしい信州ふード（風土）」プロジェクト推進事業 <73,065> 	農政部 農産物マーケティング室